



脱炭素社会的取組を現

細野龍子(日本共産党)
子ども発達センターの療育部門の民間活力導入に当たり、学識者等を入れた検討会の設置を求め、どうか。子ども生活部長 町田市子ども・子育て会議に報告をし、意見をいただきながら進めていきたいと思っています。



国際工芸美術館計画は見直しを

新井よしなお(諸派)
様々な問題を生み、導線は複雑かつ、高額になる要素を多く含む現設計についてどのように考えているか。市長 何億円下げられるかを目標に指示をし、経費削減について徹底した基本設計になっていると思っております。



図書館/骨髄ドナー

藤田学(諸派)
ニューヨーク公共図書館に学ぶこれからの図書館のあり方は。生涯学習部長 生涯学習審議会への答申を受け、町田市立図書館の4つの目指すべき姿を掲げています。実現に向け、ニューヨーク公共図書館の手法を参考に研究していきます。



縦割りに行政の弊害を

大西宣也(保守の会)
縦割り行政にはどのように対処しているのか。高橋副市長 横のつながりをつけながらやっていくというのが現状です。総務部長 19年度から紙媒体による提供を始めています。



町田市民ホール



誰もが使いやすいデジタル化

斉藤かつひろ(公明党)
誰もが使いやすい恩恵を受けられる、行政のデジタル化を目指す。情報システム担当部長 提供するサービスは、年齢、身体的条件などにかかわらず、市内全ての人がニーズに合わせて利用できるものでなくてはなりません。



中学校給食への困り事解決への

矢口まゆ(諸派)
教室から配膳室まで遠く、生徒が給食を取りに行くのに時間がかかる。学校給食部長 1校当たり4名程度の配膳員を増員の上、1校で3か月実施を想定し、調理委託業者に相談したところ、短期間採用が前提となるため、配膳員確保が困難との



ICT教育/公共交通

おんじょう由久(公明党)
ギガスクール構想の下、ICTを生かす、教員支援と持続的研究の体制が必要だが、指導室長 ICT教育に関する先進的な情報の収集をはじめ、教員が求める支援を確実に実行することで町田市のICT教育推進の機能を果たしていきます。



豊かな中学校給食の早期実現を

田中美穂(日本共産党)
小学校のような豊かな中学校給食を早期に実現すべきかどうか。学校教育部長 21年1月に町田市学校給食問題協議会の答申を受け、今後の方向性を速やかに決定していきたい。



高齢者支援の充・実

松岡みゆき(自由民主党)
子ども生活部長 週3日から1日5時間以上開設する16施設は、保育士等の資格を持つた専任職員の配置を義務づけています。市民病院事務部長 介護保険サービス利用には、介護認定が必要となり、適切な認定が受けられるよう、退院支援看護師と医療ソーシャルワーカーが支援を行っています。



生活困窮/デジタル

深沢ひろみ(保守の会)
コロナ禍で「生活困窮者」が増えている。市の生活困窮者支援事業の基準は。地域福祉部長 生活困窮の状況は様々です。まず生活保護課にご相談いただきたいと思います。状況に沿った案内をしています。



生活困窮者の居を支援の充実を

わたへ真実まちだ市民クラブ)
無料低額宿泊所は利用者にとって適切なものではないと聞く。指導や監査の状況は。個室化についてはどうか。地域福祉部長 市で直接指導検査や監査を行うことはありませんが、意見等があれば、助言を行っています。